

岡山県合唱連盟機関紙
トウッティ 第10号

発行者 岡山県合唱連盟事務局長
内田 毅
岡山市福泊168-7
TEL/FAX (0862) 74-2726

Tutti

立川 崇 新 歌 音 楽 振 興 会 長

県連副理事長

丸池 和 男

長い間の教師生活を通じた、私の音楽指導の体験について振り返って見たいと思う。

昭和三十四年四月、地元の中学校に赴任した私は、それ迄五年間の小学校での合唱指導の経験を生かし、若きと情熱を持ち、張り切って教育に臨んだ。

授業では、音楽の感動を判らせた。また、その頃は全教科にわたり高校入試があり、詰込み式に理論を教えた。結果は、成績が中以上の生徒たちは理解してくれようである。

部活動は合唱部で、ひたすら一年一回のNHKのコンクール入賞を目指し頑張った。何時間も生徒を立てせ夢中で練習したり、前列の生徒に私の唾液が飛び、謝ったりしたこともあった。

昭和四十年過ぎのことである。全国的に教育を反省する流れが起こった。「教育」とは教えるという意味であるが、これまでは「教」を大切にし過ぎ、「育」を忘れがちではなかったか。即ち、教師が教える教育だけでは、知的教育が中心となり、どの子も育たない。自主的に生徒自身が学び求めていく教育が必要である。それが「育」の面を持つ。

これからは、教えるという面が大切であるという流れである。その頃、音楽教育も創造する（創る）という言葉が言われ始め、私達は「自ら」が新たに「つくり始めること」と解釈した。

そこで、授業の面では生徒とともに音楽をつくり、ともに音楽の素晴らしさと感動を味わう形態を取ってみた。例えば合唱の授業ならば、パートリーダーを中心として各パートを仕上げ、全体練習の時は私の意見も含め皆で曲をつくり上げる方法である。勿論、発声や読譜や曲想のつくり方の基礎・基本は充分教えた後のことである。

その結果、どの生徒も自主的に取り組み、生き生きと楽しんで学んでくれた思い出がある。

一方、部活動における合唱指導は曲の持つ素朴らしさを深く追求するだけに、音楽を楽しむだけでなく、厳しさが必要であり、私が中心となつて指導をした。しかし、生徒自らが学んでいく態度や、皆で助け合い、励まし合いながら曲を造りあげることが、前者の考え方と同じである。今、成人の合唱指導をしているが、皆とともに「つくりたい」気持ちに失いたくない。そこに合唱をともに味わうことも感動する喜びがあるからである。

総会報告

去る4月12日、岡山市民会館会議室に於いて平成4年度定例総会が行なわれましたので報告いたします。

<理事の選任・移動等> (臨時総会後決定者)

職名	氏名	備考
副理事長	丸池 和男	片山副理事長と二人
理事	佐々木 英明	理事長推薦の理事
"	上田 一輝	"と交替する
"	原田 中博	森副理事長退任による
監査	吉計 査	森副理事長退任による
監査	三浦 浩	三浦浩と玉野浩

<新加盟団体>

団体名	部門	連絡責任者	責任者
新見女子短大コーラス部	大学(女)	北島 香織	新見市高
コール・ゆうぶんげん	一般(混)	奥村 真希	岡山市津
くるみコーラス	少年少女	坪井理恵子	和気郡和
アイリスコーラス	おかあさん	仁科あけよ	和気郡吉

<行事計画>

名	称	開催日	会場	入場料(円)
第15回	おかあさんコーラス岡山大会	平成4年6月14日	岡山市民文化ホール	400
第45回	岡山県合唱フェスティバル	平成4年6月28日	岡山市民会館	400/500
第45回	岡山県合唱コンクール	平成4年8月23日	岡山市民文化ホール	300
第31回	中国合唱コンクール	平成4年10月3・4日	岡山シンフォニーホール	1000
第13回	ママさんコーラスフェスティバル	平成5年2月14日	高梁総合文化会館	無料
合唱講習会		担当理事で検討中です		

合唱団紹介

(新加盟団体の紹介です)

新見女子短期大学コーラス部
北島 香織

私達の新見女子短期大学は、学生数三百人にも満たない小さな学校です。その中でもコーラス部は総勢五人という、昨年結成されたちっぽけなサークルです。その上、合唱は初めてという人や学校の音楽コンクールに出たことがある程度の経験者ばかり。本格的な発声法など習ったことがなく、現在は本などを読みながら正しい発声法を身に付けようと四苦八苦している有様です。(そのかいてもなく未だに美しい響きを、というには程遠いです)

でも、とにかく歌うことが好きな連中ばかりが集まっていて、練習時には二部合唱の簡単な曲を歌って(がなつて)見たりもしています。学科の特殊性のため実習などで思うように練習時間が取れない、ほとんど県外出身者なので連休になると集まりが惑々なる、指揮と伴奏者を立てると合唱ではなくなってしまう音痴が多い等、他のちゃんとした合唱団の方から見れば信じられない程情けない悩みを多数抱えています。また今年度は当てにしていた新入部員が一人も入らず、大変困っています。



この度は、他の多くの合唱団の歌声を聞いたりして勉強してみたいと思ひ、速期に加盟させて頂いたと思います。まだまだ人に聞いてもらえない程の歌声ではありますが、これから一日の天使のような「ハーモニー」を目指して頑張りたいたいと思ひます。どうしようもない合唱団ですが、これからはよろしくお願ひします。

コール・ゆうぶんげん
奥村 真希

そもそも発端は、昨年の全日本合唱コンクール全国大会でした。日本のトップレベルの演奏を直に聴いた血気盛んな若者数名は、その時何とも得体の知れぬ衝動に駆られたのでした。彼等の興奮はその後冷めやらぬ、若さゆえのむやみやたらな情熱は新しい団の結成へのエネルギーと化していきました。

団を結成するに当たってはまず方針。「音楽に対して熱意を持つてよ、高い芸術を目指す」という方針を決めた時には、その崇高な言葉に響きに酔いしたものでした。

次は名前。様々な候補があがっては消え、二時間も経った頃でしようか。一人がポツリと「コールユウブンゲン」と叫びました。もちろん音楽教本を見ての一言です。すぐさま(半分ややくそく意味に)決まってしまうました。

辞書によると「Jungens」は「練習」の意。まさに一に練習二に練習という我が団にふさわしい名前ではありませんか！

その後岡大グリーのOB・OGを中心にメンバーを集め若いながらも音楽的センス、指導力共に抜群？の高野敦さんを正指揮者に迎え、今年

の一月に発団式を行いました。たつた九名からのスタートでした。あれから半年が経とうとしています。全てが初めての団員も弱輩者で、試行錯誤の連続です。目下最大の悩みは団員不足でしょうか。しかし私どもは初心を忘れず、今回合唱連盟に加盟させて頂いたことを機に、今後は皆様にご指導を賜りながら成長していきたいと思ひます。本当に熱意ばかりの団ですが、よろしくお願ひいたします。

プロフィール

所属部門：一般の部(混声)

団員数：二十名余

平均年齢：二十四歳

練習：毎月四、五回

指 揮：高野敦・長谷川功一

練習曲：アカペラの曲

(モンテペルデイ等)

連絡先：青木千春

(0862)55-2147

奥村真希

(0862)55-2184

団員首秀佳木中一

くるみコーラス

坪井理恵子

この四月に岡山県合唱連盟に加盟させて頂いた頂きました。和気町には熟年パワーの「あけぼのコーラスさん」、ステキなお母様方の「さつきコーラス」さん、そして二歳児から十二歳までを対象とした「くるみコーラス」と三つのコーラスグループがあります。

昭和五十年にくるみコーラスが発足した時から、大先輩同様に草加洋江先生に御指導いただいています。毎月第一、第四日曜日の午後一時半

から一時間、和気町中央公民館に、かわいく元気な歌声が響き渡ります。岡山市民会館で行われた県合唱連盟総会でも申し上げましたが、くるみコーラスの主旨は「音楽へのスタート点、音楽に芽生える気持ちを育てること」を目標にしています。上手に歌うことは勿論必要ですがそれ以上に耳で覚えて楽しく歌う。歌うって楽しいことなんだなと、子供たちが感じてくれるように、草加先生が努力してくださっています。発足当時は希に近辺の町に出かけることもあったようですが、ここ十年近くは低年齢の子が多く、移動が大変ですので町内での活動に留めてきました。

恒例行事は夏の「音楽の夕べ」と秋の和気町文化祭に出演させて頂いたことです。その他に何かイベントが有り、声を掛けて下さる時は一緒にさせて頂いた頂きました。

昨年の十月、町福祉センターで旭東合唱連盟交歓会が行われました。くるみコーラスも参加させて頂いたこと、おかげさまで大好評を得ることが出来ました。それを機会に子供たちの活躍の場をもう少し広げてみようというところが、連盟加盟の足がかりになった次第です。

先生と保護者の方への負担も少し増えますが、大きな舞台に立った子供達はまた新しい何かを得てくれるのではないかと思っています。今は二歳から十歳まで、五十名の会員が六月二十八日に開催の岡山県合唱フェスティバルに向けて練習に頑張っています。





ママさんコーラス

歌を忘れてしまうような歳になっていきましたところ、「若い頃に習った懐かしい歌をうたってみませんか」という声を持ち上げました。そして同じく若い年代の皆さんに声を掛けましたところ、以外に反応が大きく、共鳴してくださいました人が三十名ほどありました。もう少し集まって欲しいとお互いが友から友へと声を掛け合ったところ五十名ほどの会員が集まりました。メンバーは揃いましたが、さて何と呼んでは良いかと悩みました。そのころは公民館の花壇にちやうどアイリスが美しく咲いていましたので「アイリスコーラス」と命名しました。平成二年六月の誕生です。ちなみに構成メンバーの平均年齢は六十五歳です。発足から今日まで満一年になりました。月三回の練習で一生懸命頑張っています。最初はやさしい童謡でもなかなか思うように歌えませんでした。時には曲から外れた声を出してみんなでどっと笑ったり、なかなか思うように歌えないこともありましたが、良き指導者を得て何とか歌えるようになって来ています。

アイリスコーラス
仁科あけよ

コ ン サ ー ト 情 報

◇ Joint Concert 「Prism Shower」

ノートルダム清心女子大学グリークラブ
松山大学グリークラブ / 武庫川女子大学コーラス部
と き : 平成4年7月4日(土) 午後6時半開演
ばしょ : 岡山市民会館
ちけっと : 500円
合同曲 : 「水のいのち」
こめんと : 聞きに来てください。絶対損はさせませんヨ。

◇ ジョイントコンサート with

岡山大学グリークラブ and 鳥根大学混声合唱団
と き : 平成4年7月24日(金) 午後6時半開演
ばしょ : 岡山市民会館
ちけっと : 未定
合同曲 : 「季節へのまなざし」
こめんと : 全国レベルの合唱をお聞かせします。

◇ Joint Concert

岡山大学男声合唱団 コールロータス
広島大学グリークラブ / 上智大学グリークラブ
と き : 平成4年7月30日(木) 午後6時半開演
ばしょ : 岡山シンフォニーホール
ちけっと : 前売り500円 当日売り700円
合同曲 : 「枯木と太陽の歌」
こめんと : 客演指揮に近藤安个先生をお迎えし、150名の男声合唱をホールに響きわたらせます。絶対に来てネ!

◇ ジョイント・ディナー・コンサート

倉敷男声合唱団 / グリークラブ香川 / 倉敷コールクライネ
と き : 平成4年7月12日(日) 午後5時開演
ばしょ : 倉敷アイビスクエア・フローラルコート
ちけっと : 3,000円(食事・飲物つき)
といあわせ : 事務局(0864)62-6408
こめんと : 席は300席限り。チケットは全て食事と飲物代(ビール1本位)「いっぱいやり午らコーラスを聞くてなー、ちと乙だぜ。」

◇ 川井弘子ソプラノリサイタル(ピアノ:湯谷初彦)

と き : 平成4年6月7日(日) 午後2時開演
ばしょ : 倉敷公民館大ホール(駐車場はありません)
ちけっと : 2,000円(全自由席)
こめんと : 川井さんはコール・クライネ、くらだんのヴォイストレーナーです。

第15回おかあさんコーラス岡山大会

日時：平成4年6月14日(日)午後1時開会
 会場：岡山市立市民文化ホール(岡山市小橋町)
 審査員：小山裕章/中谷和子/近藤安介
 入場料：400円

この大会はいつまでも若さを保ち、歌を楽しむグループの演奏会です。人の和を通してすばらしいハーモニーが生まれ、よりグレードの高い演奏が出来るよう、おかあさんは頑張っています。

皆さん、是非会場へお運びくださって、この大会での演奏を応援してください。多くの方々のおいでを心からお待ちいたしております。

また今年の全国大会は日本でも有数の施設をほこる「東京芸術劇場」です。例年おかあさんたちの「パワー」と「あたたかさ」に溢れるハイレベルの演奏が繰り広げられるのです。実に楽しく個性ある合唱を聞くことが出来ます。全国大会へ向けて岡山大会を盛り上げましょう。(増田)

第45回岡山県合唱フェスティバル

日時：平成4年6月28日(日)午後0時開会
 会場：岡山市民会館(岡山市丸の内)
 講評者：糸賀英憲/平島邦央
 入場料：学生券400円/一般券500円

連盟傘下55団体中35団体が出演する、連盟最大のお祭りである。お祭りと言っても歌いっぱなしでなく、講師の先生に講評をいただき、今後の参考にするとところがいい。

この大会は山陽放送さんの共催をいただいているが、最大の魅力はテレビ放送である。映る映らないの不安はあるようだが、映してもらえぬことを願って精一杯の笑顔で歌う自分に照れる。

自分の演奏が終わったらサッサと帰るのでなく、他の団体の演奏も聞いて良いところを取り入れてください。今回参加されない方も梅雨の晴れ間の一日をコーラスさんまいで過ごされては如何がですか。(T生)



団員募集

倉敷男声合唱団では
 団員を募集中ノ
 ☆62-6408まで

倉敷男声合唱団 〒710 倉敷市中区3425
 ☎0864-62-6408

練習日および練習場所

毎月第2日曜日 倉敷北公民館(倉敷市中庄1895-1 ☎62-3022)
 毎月第4日曜日 倉敷キリスト会館(倉敷市錦形1-5-15 ☎25-4854)



くらだん・合唱宿
 倉敷男声合唱団(くらだん)では五月九日(土)十日(日)の一泊二日、三回目の初夏の合唱を、牛窓シーサイドペンションで行なった。指揮の田中先生、伴奏の玉井さんヴォイス・トレーナーの川井さんを含め、団員三十数名が北は高梁、西は笠岡、南は児島、東は山陽町から集合。
 新曲のアンファン・ス・フィニ、編曲のワルツなどを延べ九時間練習。総会後、恒例の(ノミネーション)などで楽しい一夜を過ごした。(原田)

岡山混声 来夏、中国へ

岡山混声合唱団では、平成五年のゴールデンウィーク中、四泊五日の予定で先年の台湾に続いて大陸中国に演奏旅行に行く予定。
 片山団長、中村、佐々木の両先生をはじめ、中国に詳しい面々で目下その準備を進めている。
 この春から既に旅行費用の積立も始まり、毎月初回の練習日に集金を行ったりしている。(これも原田)

【編集前記】

四月二十五日(土)午後二時より庶務部の初めての部会が開かれた。集まったのは事務局長の内田氏、岡混の私、なでしこの増田さん、就実の高田さん、ココの石田さん、そしてゆずり葉の柴田さんの順。
 岡山駅西口近くのホテル一階のレストランで、コーヒ一杯で二時間も粘ったのだ。(ウエイターさんご免ね)
 議題は「庶務部の新しい職務とその分担」……。六人揃った頃から次第に話も順調に進み、女声部優位の内に、機関紙の発行、ハーモニーの送付、活動の記録、慶弔など大筋を決めた。今月初刊の「トウッテイ」は如何なりますか。石田編集長殿、内田印刷所長殿、よろしくお願ひします。(原田記者)